

産婦人科 *Obstetrics and Gynecology*

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

○近藤 裕司(副院長)

1987年岡山大学医学部卒

専門分野:周産期医学、婦人科手術

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医

○阿部 恵美子(総合周産期母子医療センター長)

1993年愛媛大学医学部卒

専門分野:周産期医学、婦人科手術

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・周産期専門医(母体・胎児)指導医、臨床遺伝専門医制度委員会臨床遺伝専門医、日本女性医学学会女性ヘルスケア暫定指導医、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医

○田中 寛希(主任部長)

2004年愛媛大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般、内視鏡手術

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医

○森 美妃(部長、総合周産期母子医療センター副センター長)

2004年高知医科大学卒

専門分野:周産期医学、婦人科手術

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・周産期専門医(母体・胎児)指導医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医・女性ヘルスケア指導医、日本産科婦人科遺伝診療学会認定医(周産期)、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医

○池田 朋子(部長)

2005年愛媛大学医学部卒

専門分野:周産期医学、婦人科手術

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・周産期専門医(母体・胎児)指導医、臨床遺伝専門医制度委員会臨床遺伝専門医、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医

○上野 愛実(医長)

2014年愛媛大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般、内視鏡手術

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医、日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医

○井上 翔太(医長)

2016年愛媛大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医

○西野 由衣(副医長)

2019年愛媛大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医

○井上 奈美(副医長)

2019年愛媛大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般

資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医、母体保護法指定医師

○高崎 萌(専攻医)

2021年愛媛大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般

○藤田 菜由貴(専攻医)

2021年愛媛大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般

○門田 麗(専攻医)

2023年愛媛大学医学部卒

専門分野:産婦人科一般

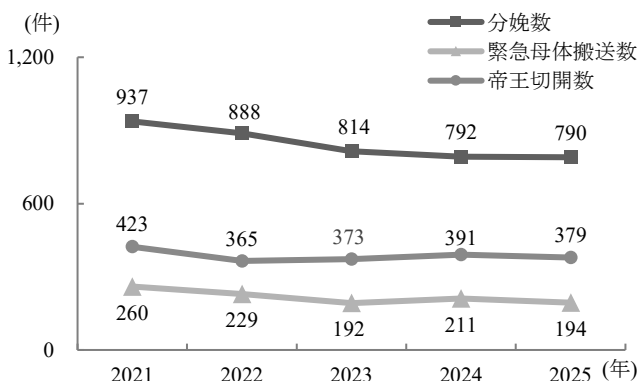
○鎌倉 百合(診療委託)

○福岡 真弓(診療委託)

2. 実績

22週以降の分娩数は790件でした。県内の出生数は全国的な傾向と一致し減少が顕著になり、当センターもその影響を受け減少したのと考えられます。当センターは県内全域から多くの母体搬送を受け入れているため、緊急母体搬送数は194件でした。分娩数は減少していますが、母体搬送率は上昇しており、総合周産期母子医療センターとしての重要性が増しているものと考えられます。

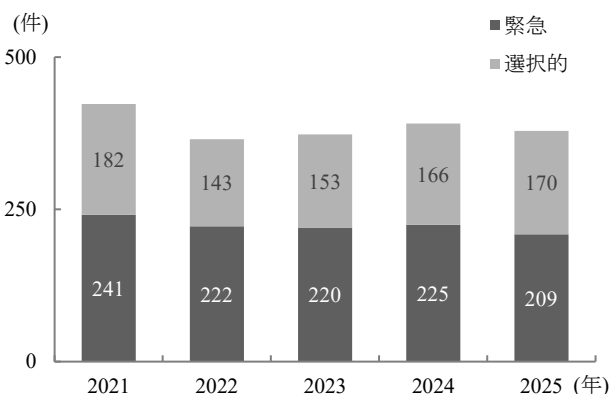
■ 分娩数・帝王切開数・緊急母体搬送数の推移



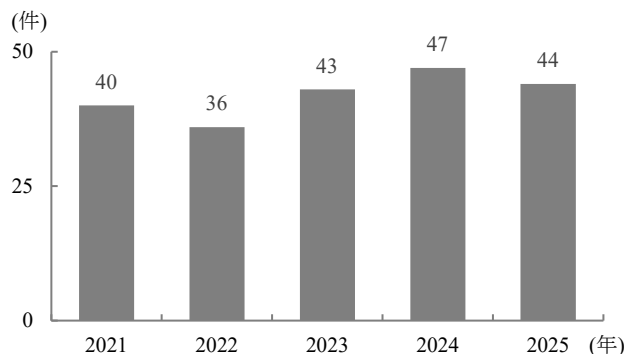
帝王切開については、帝王切開数は379件、うち緊急帝王切開数は209件、選択的帝王切開数は170件でした。

当センターでは新生児内科、麻酔科等関係各科と良好な連携のもと、迅速な帝王切開を提供できています。また三次救急とも連携して、母体救命が必要な合併症妊婦についても、母体救命対応総合周産期母子医療センターとしての機能を果たしています。

■ 帝王切開数の推移および内訳



■ 多胎妊娠(母体数)の推移



■ 疾患別入院患者数

疾患名(ICD10 準拠)	患者数
O14 妊娠高血圧症候群	49
O20 切迫流産	10
O32 骨盤位	29
O33 児頭骨盤不均衡	4
O34 既往帝切後妊娠	82
O36 子宮内胎児発育不全	43
O42 前期破水	78
O44 前置胎盤	20
O47 切迫早産	169
O48 分娩予定日超過	23
O66 分娩停止	14
O68 胎児機能不全	48
O72 弛緩出血	11
C549 子宮体癌	8
C56 卵巣癌	30
D25 子宮筋腫	139
D39 卵巣腫瘍	87

婦人科手術では良性疾患の腹腔鏡下手術を中心とした内視鏡下手術を行っており、腹腔鏡下手術は177件、子宮鏡下手術は21件、ロボット手術は18件施行しました。これらの低侵襲手術により在院日数の短縮に貢献しています。

■ 手術件数

手術名	症例数
腹腔鏡下手術	177
子宮鏡下手術	21
子宮全摘術(腹・腔式)	42
開腹付属器手術	7
子宮脱手術	10
緊急帝王切開術	209
予定帝王切開術	170
円錐切除術	27
ロボット手術	18

3. 2026 年度目標

当科は愛媛大学医学部附属病院や松山赤十字病院からも搬送を受けるなど、多くの重症なハイリスク妊娠分娩を取り扱うため、新生児内科、小児外科とのカンファレンス等を通してさらに連携を強

め、より高度で安全な妊娠分娩管理を実施していきたいと考えます。

病診連携の推進については、紹介率および逆紹介率をさらに高めるよう努めることを目標としました。

近年の産科入院患者の増加に対して、病床の問題に十分配慮し、経陰分娩後1日、緊急帝王切開後2日での紹介元への逆搬送の実施等で病床利用に配慮し、病床利用効率の向上に貢献していきたいと考えています。また、病床が不足した場合の他病床への患者さんの転床にあたっては、産科病床選択や転床時の説明等に十分な配慮を行うようにします。これらによって母体搬送の受け入れ要請については全例対応できるよう配慮していきます。

婦人科では夜間でも十分な手術実績のある医師が手術に入るようにし、安全な手術治療の提供に配慮していきます。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 門田麗、池田朋子、河端大輔、西野由衣、井上奈美、井上翔太、上野愛実、森美妃、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司。膀胱癌合併妊娠の1例。第78回愛媛県産婦人科医会学術集談会。松山 (2025.5.31)
- 河端大輔、井上翔太、門田麗、西野由衣、井上奈美、上野愛実、池田朋子、森美妃、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司。腹腔鏡下筋腫核出術でのMyoma pseudocapsuleの温存を目的としたインジゴカルミン・パソプレシン混合液を用いた工夫。第78回愛媛県産婦人科医会学術集談会。松山 (2025.5.31)
- 中井康弘(矢野産婦人科)、堅田千晶(矢野産婦人科)、大橋いく子(矢野産婦人科)、永井美緒(矢野産婦人科)、岡本明子(矢野産婦人科)、古谷公一(矢野産婦人科)、矢野浩史(矢野産婦人科)、阿部恵美子。単一胚盤胞移植後に生じた一絨毛膜三羊膜品胎の一例：タイムラプス画像による発生機序の検討。第66回日本卵子学会学術集会。広島 (2025.5.31-6.1)
- 池田朋子、上野愛実、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。膀胱癌合併妊娠の1例。第61回日本周産期・新生児医学会学術集会。大阪 (2025.7.13-15)
- 城戸香乃、阿部恵美子、上野愛実、池田朋子、森美妃、近藤裕司。妊娠30週まで子宮内生存した三倍体の一例。第61回日本周産期・新生児医学会学術集会。大阪 (2025.7.13-15)
- 森美妃、上野愛実、池田朋子、阿部恵美子、近藤裕司。腸閉塞合併妊娠の1例。第61回日本周産期・新生児医学会学術集会。大阪 (2025.7.13-15)
- 門田麗、池田朋子、河端大輔、西野由衣、井上奈美、井上翔太、上野愛実、森美妃、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司。膀胱癌合併妊娠の1例。第77回中国四国産科婦人科学会総会ならびに学術講演会。下関 (2025.9.13-14)
- 城戸香乃、田中寛希、門田麗、河端大輔、井上奈美、井上翔太、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。腹腔鏡下子宮全摘出術の術中膀胱鏡検査で偶発的に発見された膀胱癌の1例。第77回中国四国産科婦人科学会総会ならびに学術講演会。下関 (2025.9.13-14)
- 井上奈美、田中寛希、門田麗、河端大輔、井上奈美、井上翔太、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。TLHの音声付き教育ビデオ制作の試み。第65回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会。鹿児島 (2025.9.18-20)
- 上野愛実、近藤裕司、阿部恵美子、田中寛希、森美妃、池田朋子、井上翔太、井上奈美、河端大輔、門田麗。若年女性に発症した卵管捻転の2例。第65回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会。鹿児島 (2025.9.18-20)
- 上野愛実、門田麗、河端大輔、井上奈美、井上翔太、池田朋子、田中寛希、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。若年女性に発症した卵管捻転の2例。第30回四国産婦人科内視鏡手術研究会。高知 (2025.10.4)
- 渡部あすか、森美妃、門田麗、河端大輔、井上奈美、西野由衣、井上翔太、上野愛実、池田朋子、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司。妊娠33週で帝王切開を行ったSHiPの1例。第79回愛媛県産婦人科医会学術集談会。松山 (2025.12.6)
- 門田麗、井上翔太、河端大輔、井上奈美、西野由衣、上野愛実、池田朋子、森美妃、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司。子宮筋腫を伴う閉経後子宮捻転の1例。第79回愛媛県産婦人科医会学術集談会。松山 (2025.12.6)

(2) 論文・著書

- 城戸香乃、阿部恵美子、井上奈美、西野由衣、井上翔太、上野愛実、池田朋子、田中寛希、森美妃、近藤裕司。妊娠30週まで子宮内生存した三倍体の一例。現代産婦人科 74巻(1号)。1-6 (2025.2)
- 城戸香乃、田中寛希、井上奈美、西野由衣、井上翔太、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。ZOOMミーティングを用いた腹腔鏡遠隔教育システムの経験。愛媛県立病院学会々誌 59巻。19-22 (2025.3.31)

3. 野村崇良、阿部恵美子、城戸香乃、西野由衣、井上奈美、井上翔太、上野愛実、池田朋子、田中寛希、森美妃、近藤裕司、高橋謙作、村上太一. PAX2 遺伝子異常による末期腎不全透析患者の妊娠・出産の 1 例. 愛媛県立病院学会々誌 59 巻, 61-64 (2025.3.31)
4. Ken Takahashi, Susumu Yoshida, Showa Aoki, Saori Tanaka, Akihiro Kawashima, Kazuhiro Kajiwara, Noriko Kato, Hitoshi Matsui, Mariko Serizawa, Shunichiro Tsuji, Tomoko Yamamoto, Tadatsugu Kinjo, Noriyuki Nakamura, Maiko Sagawa, Mika Sato, Emiko Abe, Sayuri Nakanishi, Yoshinobu Fujimoto, Sota Takahashi, Hiroyuki Sasaki, Yurika Mukai, Sumiko Hara, Kaori Fukuta, Norihiko Kikuchi, Emiko Hara, Tomomi Shiga, Chinami Horiuchi, Toshiyuki Sado, Yuko Matsubara, Keiichiroh Akabane, Aya Harada, Hiromi Nagase, Kazuhisa Maeda, Hiroshi Katagiri, Jun Sasahara, Hirokazu Sugii, Shunsuke Tamaru, Miyoko Waratani, Saya Tsukahara, Shohei Shibukawa, Tomoiki Kiyama, Yoshifumi Kasuga, Makiko Egawa, Hiroshi Sato, Chiyo Tamamura, Tokumasa Suemitsu, Aikou Okamoto, Osamu Samura. Perinatal outcomes in Rh-Dnegative pregnant women in Japan. Scientific Reports 15(2). (2025.5)
5. 田島麗、上野愛実、城戸香乃、西野由衣、井上翔太、池田朋子、田中寛希、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司. 若年女性に発症した卵管捻転の 2 例. 現代産婦人科 73 巻(2 号). 239-243 (2025.6)